

地域の底力を信じ、市民一人一人をローカルヒーローに!

NPOと市民をつなぐ機関誌

まはる

- 特集
- まんまるニュース
- Myストーリー
- まんまるの! 新NPO紹介
- お宝ざくざく 地域を掘りおこせ!
- まんまるイベントスケジュール

特集 買い物で社会は変わる?! エシカルのススメ



特集

買い物で社会は変わる?! エシカルのススメ



物を買う行為は、私たちが生きていくうえで避けては通れません。しかし私たちは、安さや利便性、流行を追い求めるあまりに、環境負荷や人権に配慮することなく、大量消費・大量廃棄の潮流に乗ってはいないでしょうか？

今回の特集では、「エシカル(倫理的・道徳的な)消費」について取り上げ、具体的に私たちができることについて考えようと、座談会を開催しました。

2015年、国連が採択した「SDGs(持続可能な17の開発目標)」の12番目のゴールに「買つ責任作る責任」があります。現在、消費者庁や地方自治体が「エシカル消費」を推進しています。

そこで、「エシカル消費」啓発に取り組むNPOや、「おしゃれ」で「環境に良く」、「気持ちがいい」フェアトレード商品を扱う店のオーナー、エシカル商品を積極的に取り扱う組合、3者の立場から、意見を交わしました。



「エシカル」との出会い

柀津 10年ほど前のリサイクルバッグとの出会いがきっかけでした。色も使い心地も良かった…。それは、オランダの方がデザインし、東南アジアの女性たちが作っているフェアトレード商品だったので。以来、意識してインターネッ

トでフェアトレードのアクセサリーなどを買っていました。

脇本 高校生の時、地球温暖化でシロクマが危機に瀕していることを知り、環境について学ぼうと都内の大学へ進学しました。卒業後、土壌汚染調査などをする会社に就職し長野市へ移住しました。生活の中では省エネを実践したり、洋服をリ

エシカル座談会



対談参加者

- NPO法人みどりの市民 脇本萌美さん
 - cublue(キューブルー) 柀津厚子さん
 - 長野県生活協同組合連合会 関佳之さん
- 司会 市民協働サポートセンター 阿部今日子
記録 長野大学 笠原弘江

サイクルしたりしていました。そして3年前、都内でファストファッション(海外での大量生産による格安商品)の裏側を描いたドキュメンタリー映画「ザ・トゥルーコスト」を観て衝撃を受けました。そこで長野市内で上映会を企画開催し、それをきっかけにNPOにも参加、エシカル消費の啓発活動をスタートしました。



脇本萌美さん

NPO法人みどりの市民でエシカルを担当。子育てしながら環境に関する調査をする会社に勤務。東京都出身、長野市在住。

「「買」は世界のどこに繋がっているか」という疑問を始点



「買」は世界のどこに繋がっているか

り組みからエシカル消費について知りました。

脇本 私たちNPOが主催する「エシカル」をテーマにしたワークショップには、子どもたちも参加します。自分たちが日頃着ているTシャツは、実は同じ年頃の子たちの厳しい労働のもとに作られているという現実を知ります。現地の労働者家族などのロールプレイ(疑似体験)を通じて、当事者が感じる思いを共有する体験をします。

司会 子どもにとって大切な機会ですね。成長して消費者になった時、商品の裏側にある現実を知ると知らないとは行動が違ってくるのではないのでしょうか。

柀津 お客様から「この商品はどこで作られているの?」と聞かれることがあります。インドやバングラデシュ、ペルーなどで作られたものがなぜここにあるの?という疑問を始点



柀津厚子さん

「青」と「四角」がコンセプトの雑貨屋「cubblue」を経営。開店当初からフェアトレードなどエシカル商品を軸にしている。建築士、インテリアコーディネーター。

代わり商品に問題があれば、ちゃんと作り手へ返します。すると商品のクオリティも上がっていき、買う人には、

に、異国の生産者が日本の消費者と、対等な関係で正当な対価をもらえないという現実を伝えます。だからと言って、10あるエシカル商品から10を選ばなくてもいいと思います。おっしゃるように、背景を知った上で商品を買うことは大切だと私も思っています。

司会 柀津さんのお店にある商品の中で、ちよつと変わったものに目をとめると、たまたまエシカルなものだった…。商品を通して会話を仕掛けていると感じます。

ウエディングドレスもありです。買って満足して、次も買いたいと思った時に、また手に入れられる仕組みが大事。本来は、エシカルではないものが売られてはいけないとも思います。

関 消費者庁によると家計が支出する消費額は、経済全体（国内総生産）の60%を占めているとのこと。消費を引く張る人の意識が変わると、社会全体の消費が変わるのです。私たちは「あなたの購買が地球の裏側の人々にもつながっている」と伝えたい。お金持ちでなくても、エシカル消費の仕組みに参加できる、社会課題解決につながる。そうした環境づくりが大切だと思います。

柀津 私たち売り手は、伝統や文化など、作り手がその商品に込めた思いを大切にして、買う人へつないでいく…。その



関佳之さん

長野県生活協同組合連合会専務理事。組合員のみならず地域社会の共通利益に関する課題を解決することをミッションとしている。

フェアトレードだからこの程度でいいと、妥協してほしくないのです。

一人ひとりに
何ができるの？

司会 先日、県の消費生活センター発行のエシカル消費に関するパンフレットを見て、エシカル消費の幅の広さを知りました。

脇本 日常のスーパーでの買い物で、値段だけで判断せず、県内産の商品を買うだけでもいいと思います。

柀津 昔の暮らしに少し戻してみるのもいいかも。いつも意識していれば行動につながると思います。

脇本 NPOはなにかを伝えるとき、どうしても押しつけがましくなりがちです。

柀津 商品が良ければ、買った人は笑顔になれます。

す。私は店の商品を着て、できるだけ「いいな」と思ってもらえる着方をする努力をしています。エシカルなものなので、自分も気持ちがいいのです。若者たちもファストファッションの裏側を知れば、行動が変わり、知ることでも自分自身も「気持ちよく」なれると思います。

関 エシカルな商品の価値がわからないと、安い商品の方が売れていきます。売る側としては商品の背景を知らせる努力と共に、オシャレ感など消費者の価値判断に見合う物を届ける責任があると感じています。

実は生協でエシカルな商品情報をまとめて提供すると、売れ易いという反応がありました。一部しか知らない情報が組合員の目に触れ、一気に拡散できることは我々



の強みでもあります。

柀津 店頭で一人一人に伝えるよりインパクトが大きいですね。

関 店ではお客様とコミュニケーションを取ることで、商品の魅力を直に発信できます。柀津さんのようにエシカル消費について、人から人へ伝えることも影響力があると思います。

知らせる、見せる、
広げる

関 ここ15年ほどで「安いもの」から、「自分が価値を認めるもの」へと、消費



者のニーズが変化していま
す。その商品がもつストー
リーに共感できると、高く
ても買うようになってきて
います。

司会 消費者へ訴えかける
ときには、情報の表現方法
も大切ですね。

関 私たち男性は頭が固く
て(笑)。女性は何かに気
づいたら行動する力があり
ます。家計のコントロール
をしているのは主に女性で
す。女性の感性を無視する
とエシカル消費は広がらな
いと思います。

脇本 子どもを産むと、意
識が変わります。子どもに
安心なものを食べさせたい
とか…。

柀津 「エシカル」「フェア

かさみたくないな
ものが、社会に根
付けばいいです
ね。

脇本 関さん、
生協の魅力は数
の発信力です
ね。ぜひNPO
にも力を貸して
ほしいと思いま
す。自分が発信
し続けると、友
達も影響を受け
ると感じていま
す。柀津さんの
様にポジティブ
に無理なく広め
ていきたいと思
いました。

柀津 買い手が
うれしい、着て

トレード」「オーガ
ニック」という概
念がトレンドにな
るといいなと思
います。商品を買
って使うことで、自
分満足して良い気
持ちになれば、周
りから「それフェア
トレードじゃん」「
カッコいい!」と思
ってもらえるよう
な社会になれば…。
ぜひたくとは違
う、豊

いて素敵、売り手も楽しく
て気持ちいい…そんなエシ
カル商品を店の大切な柱と
して、これからも広げてい
かれたらと思います。

関 エシカルな商品に、消
費者が気軽につながれる仕
組みが必要だと感じていま
す。NPOや商店など、目
的を同じくするみなさん
と、どう連携できるかこれ
から模索していきたいと思
います。



この日持ち寄った資料。センターに置いています!

座談会に参加した皆さんの団体情報

- ◆ NPO法人みどりの市民 <http://midorinoc.sub.jp/>
- ◆ cublue (キューブルー) <http://cublue.naganoblog.jp/>
- ◆ 長野県生活協同組合連合会 <http://nagano-seikyoren.org/>

Pick up エシカル (エシカル情報はこちらから)

- 一般社団法人エシカル協会 <http://ethicaljapan.org/>
- 消費から持続可能な社会をつくる市民ネットワーク <http://cnrc.jp/>
- フェアトレード・ラベル・ジャパン <https://www.fairtrade-jp.org/>
- 認定NPO法人ACE <http://acejapan.org/>
- 認定NPO法人アニマルライツセンター <http://www.arcj.org/>
- FSCジャパン (森林管理協議会) <https://jp.fsc.org/jp-jp>
- MSC日本事務所 (海洋管理協議会) <https://www.msc.org/jp>

みなさんのお話から、SDGsの「誰一人とりこぼさない」は「誰一人無関心にならない」ということと言い換えられるのではないのでしょうか?

「買い物は投票(消費から持続可能な社会をつくる市民ネットワークHPより)」という言葉からも、さまざまな立場の人が、改めて「買う(使う)」ということについて考え、仕事や活動はもちろん、生活のあらゆる場面で「エシカル消費」を実践すれば、確実に社会は変わるので。



「地域まんまる」戸隠 「地域とのつながりを求めて」



地区内外の人が一緒に意見交換

9月2日、秋の訪れを感じる戸隠地区の障害者施設、とがくししようまの家に、地区内外から25人が集まり、地域まんまるを開催しました。今回は、NPO法人とがくししようま、戸隠地区住民自治協議会と一緒に企画。テーマは「施設と地域のかかわり」について。

先進的な取り組みをしている施設として、高齢者施設・柳町デイサービスの竹村陽一さんと、障害者施設・皆神ハウス(松代)の施設長・

坂口和美さんをゲストに迎え、それぞれの地域との関わりについて聞きました。柳町デイサービスは、高齢者による下校の見守りや子ども居場所づくりをしています。子どもたちは自然な形で高齢者について理解を深め、高齢者は役割をもつことができています。皆神ハウスは、設立時から地域との関わりを大切にしている、常日頃から地域との関係を意識し、いろいろな集まりには利用者も一緒に顔を出します。また、地域からの寄付や頼まれごとは「断らないようにしている」と坂口さん。来年度は地区の福祉推進員も引き受けるそうです。

後半はグループごとに、「なぜ地域と施設がつながる必要があるのか?」「自分たちには何ができるのか?」を出し合いました。施設からは「施設を提供でき

当センターでは、活動者のためのスキルアップ講座「NPOステツプアップ講座」を毎月開催しています。NPO活動には欠かせない「基本スキル」から、

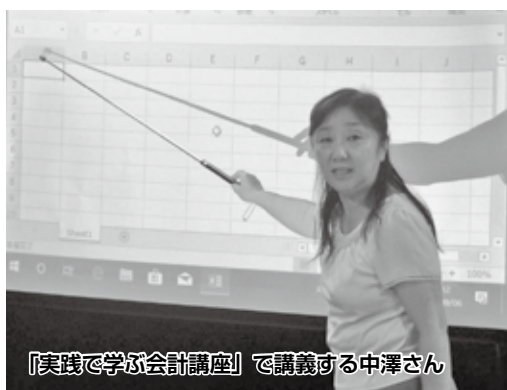
NPOステツプアップ講座で スキルアップしませんか?

大きな成果・成長につながる「組織力」を養うための実践講座まで、毎月テーマを変えて実施。

「専門的な情報をもっている」、地域の方からは「具体的に頼まれればなんでもやるよ!」という力強い言葉もありました。

お互いさまの気持ちで歩み寄ること、そのための仕掛けづくりをみんなで考えていくと確認し合いました。

9月6日には、「実践で学ぶ会計講座」と題し、NPO法人エリアネット更埴の中澤聖子さんを講師に迎え、エクセルを使った事業ごとの帳簿づくりを実践しました。エクセルの基本操作や知って得する豆知識にふれながら、会計処理を簡略化する関数の使い方を学びました。参加者からは、会計業務に携わる中での悩みや疑問について質問があり、講師からアドバイスをいただきました。



「実践で学ぶ会計講座」で講義する中澤さん



学ば「事業プログラムのいろは」(11月)を予定。来年度1月には、NPO法人CRファクトリーから講師を迎え、さまざまなコミュニケーション・組織運営を見つめ直す「コミュニケーション」を実施予定です。
※CRファクトリー (<http://craftactory.com/>)

#06

My
ストーリーNPO法人みどりの市民
事務局長 渡辺ヒデ子さん

「活動のきっかけは、長野市ボランティアセンターのボランティア・ナイトスクールへの参加だった」と話す渡辺さん。

70年代に信州大学を卒業後、カネボウ長野工場「企業内学園」に教師として務めます。「学びながら働き、たくましく生き抜く、生徒たちの姿勢に触発された」そうです。90年代に入り自身も見聞を広めようと仕事の傍ら、ナイトスクールに参加したのです。

そこで出会った仲間と「企画集団ぼらん亭」をスタートします。「平和だからこそのこと」をメッセージに、城山公園で一部太陽光を使った巨大クリスマスツリーづくりを決定。「本当に楽しかった」と当時の活動を振り返ります。

「今、エシカル普及（特集P24参照）に力を入れている」と渡辺さん。ボランティア仲間と出会い、環境活動を通して「私たちがしていることは世界へつながっている」と実感してきました。「肩の力を抜いて、与えられた場で自分にできることをやるだけ」。一人の女性の生き方そのものが、地域の環境活動を支えたりします。利用する環

境活動団体と「エコ広場ながの」を立ち上げ、「環境にやさしい店舗」などの活動にも着手。

平成13年には、市の環境ビジョン作成のための「ながの環境パートナーシップ会議」に関わり、その有志でNPOの準備会を立ち上げ、NPO法人みどりの市民が誕生しました。

「今、エシカル普及（特集P24参照）に力を入れている」と渡辺さん。ボランティア仲間と出会い、環境活動を通して「私たちがしていることは世界へつながっている」と実感してきました。「肩の力を抜いて、与えられた場で自分にできることをやるだけ」。一人の女性の生き方そのものが、地域の環境活動を支えたりします。利用する環



プロフィール

わたなべひでこ 自家製野菜を育てつつ、パートナーと二人暮らし。

団体情報

NPO法人 みどりの市民
〒380-8553 長野市若里4丁目17-1
信州大学工学部 UFO ながの 高木研究室内
TEL & FAX : 026-269-5092
メール midorit18@shinshu-u.ac.jp

新 NPO紹介

まんまるの!

NPO法人長野県武術太極拳連盟

理事長の櫻井啓司さんは、「太極拳は左右異なる動作をするため、脳が活性化し、健康寿命延伸にもつながる」と話します。千人を超える人々が参加する「日中友好武術太極拳フェスティバル」や、子どもたちが参加する「ジュニア武術太極拳大会」などにも法人として協力。世代を超えて武術太極拳が地域で愛されることを願っています。

NPO法人長野県武術太極拳連盟
長野市七瀬中町20番地6桃園コーポ1階2号
TEL : 026-217-1385



太極拳の剣を用いたレッスンの様子

まちむら交流会in大岡
ぷち森林塾
森でつくろう!

7月29日・8月25日・9月16日

「大岡森林塾」は、山の楽しみ方を知って大岡をもっと楽しもうと平成26年に立ち上がった団体です。「ヤマから地域を変えよう!」をモットーに、現在15人のメンバーで活動しています。



森の中で丸太の椅子が完成!!

中山間地と市街地を結ぶまちむら交流会。今年初の林業体験を企画、「山や森の大切さを知ってもらい、大岡の魅力を感じてもらおう」と森林塾とまんまるが協働でつくり上げてきました。

全身で感じることができます。森林塾代表の廣田忠夫代表による樹齢60年27メートルの杉を伐倒するデモンストレーションは圧巻の迫力。赤澤節子さん作のオリジナル紙芝居上演など、毎回趣向を凝らしました。メインの企画は黒板・椅子・机作り。参加者は細い木をノコギリやチェーンソーで切ったり、グラインダーで削ったり、木の香りを楽しみながら作業しました。

お昼は、大岡産の米と野菜中心のメニュー、森林塾の女性陣が中心となって作りました。お腹いっぱい食べて、木や森の話に花が咲き、時間を忘れず。「楽しかった! また来ます!」「大岡が好きになった」という言葉に、森林塾のメンバーも笑顔になり、「来年もぜひ」と意気込んでいます。

お宝
ザクザク

地域を掘りおこせ!



川中島地区を中心に活動しているNPO法人エコライフ・プロジェクト信州は、発足から3年、会員・準会員合わせて約50人が11部会に分かれて活動しています。買い物に難しい高齢者のために、地元の野菜を手軽な価格で販売する野菜市を開く部会もあれば、ゴミ出しの手伝いをする部会もあります。

今回は、毎週金曜日、川中島コミュニティプラザで行われている「はつらつ体操」を取材しました。火曜日に「グリーン



男性が多いはつらつ体操

川中島地区を盛り上げる
縁の下の力持ち!

健康福祉部会長・山田忠志さんによると、約1年間で50回開催し、延べ参加者は2千人(1日平均すると25人)を超えるそうです。中には口コミで松代から通っている人や、皆勤賞の人もいました。参加者になぜ通っているかと尋ねてみると、「友達に会えて楽しい!」という返事。法人創設者の片桐治さんは、「入会時にアンケートをとり、参加者がやりたい部会に所属してもらうようにしている」と話していました。

地域で縁の下の力持ちとなり、参加者が笑顔になれる活動に注目です!

NPO法人
エコライフ・プロジェクト信州



市民協働サポートセンター スケジュール

2018年 10月▶ 12月



タイトル	日時	会場 / 費用	内容	
NPO 初歩講座「きほんのき」	10月24日(水) 13:30-16:00 11月28日(水) 13:30-16:00 12月12日(水) 18:30-21:00	市民協働サポートセンター 300円 定員: 10人	「NPOってなに？」法人を設立したいという人もまずはこの講座から始めましょう。毎回ゲストに、市内NPO法人を招いて生の声を聞いています。12月は夜の開催となります。	
NPOステップアップ講座「資金調達のいろは」	10月16日(水) 13:30-16:00	もんぜんぶら座 601 会議室 300円 定員: 15人	NPOの多様な活動資金の特徴や、自団体に適した財源とその調達方法を学びます。市内NPOの事例を紹介し、わかりやすく解説します。 ▶講師/NPO法人長野県NPOセンター山室秀俊さん	
NPOステップアップ講座「事業プログラムづくりのいろは」	11月14日(水) 13:30-16:00	もんぜんぶら座 304 会議室 300円 定員: 15人	団体の使命や社会ニーズに沿った企画立案や効果をあげる予算計画をつくるコツを学びます。ワーク形式で参加者同士アドバイスし合います。助成金の公募がスタートする前に準備を進めましょう！ ▶講師/NPO法人長野県NPOセンター山室秀俊さん	
NPOステップアップ講座 イベント企画のいろは ×NPOカフェまんまる 「イベントアーズミーティング」	12月14日(金) 18:30-21:00	市民協働サポートセンター 300円 定員: 15人	イベントを「する側」のみなさんに集まっていただき、情報・課題共有を行いながら交流を深め、より充実したイベントプログラムについて学び合います。 ▶事例発表団体/ NPO法人Happy Spot Club 「ながのとびっくラン in わかほ」大会実行委員会	
NPOステップアップ講座「コミュニティマネジメント いろはのい(仮)」	H31年1月19日(土) 14:00-17:00	もんぜんぶら座 304 会議室 1,000円(1団体1人) 定員: 20団体 (1団体2人以上参加)	最初は熱い想いで活動を始めても、メンバーの気持ちにズレが生じたり、リーダーだけが必死で頑張っている…そんなことはありませんか？ 組織マネジメントのプロを講師に迎え、ワークショップを交えながら学びます。1団体2人以上での参加を推奨します。 ▶講師/NPO法人CRファクトリー 代表理事 呉哲煥さん	
NPOカフェ まんまる NPOカフェ まんまる	おでかけNPOカフェ まんまる in N-port 「これからの働き方とは？」	10月27日(土) 10:00-12:00	NAGANO 若者フリースペース N-port (栗田1020-6ステラビル) 無料 定員: 10人	NAGANO 若者フリースペース N-port は、主に就活支援や創業支援など行っている場所です。「就職ルール廃止」や「複業」など働き方が話題になる中、異業種の方が集まるN-portで、「これからの働き方について」考えます。
	地域まんまる in 芋井 「地域×NPO(仮称)」	11月中開催予定	芋井地区 無料	▶企画団体/芋井地区住民自治協議会 ▶協力/NPO法人 ecology&eco-lives 信州
ポップアップ知恵出し会議 「家庭崩壊が生み出すもの ～離婚・貧困・子どもへの影響」	10月19日(金) 13:30-16:00	もんぜんぶら座 会議室 無料 定員: 25人	夫婦間の紛争による様々な社会課題と支援態勢について議論します ▶講師/山口利幸さん(元県教育長)	
NPO法20周年記念シンポジウム	12月9日(日) 13:00-17:00(予定)	市民芸術館アクトスペース 無料	NPO法が施行されて今年で20年。その間、NPOは何を成し遂げて来たのか、社会はどう動いてきたのか。改めて考えます。 ▶共催/NPO法人長野県NPOセンター	



はココに! 機関誌まんまる設置場所募集!!

長野相生座・ロキシー

権堂商店街の中ほど、日本屈指の歴史ある映画館。開館してから今年で101年目。「お客様との距離が近いことが当館の良さ」と支配人の田上真里さん。ドキュメンタリーや大型配給ではない作品に力を入れていて、作品選びは常連客の顔を思い浮かべながらやっているそうです。関係者や映画ファンからは「地方でこんなにたくさんの映画を上映しているところはない」と言われ、県外の方がふらりと観に来ることもあるとか。まんまるは館内にあるチラシケースに置いていただいています。



館内3カ所にまんまるが置かれています

編集後記

エシカルの特集を組むためにいろいろと調べてみました。アンテナを張って、世の中の動きに敏感であることは大切なことだと感じました。被災地のものを買うとか、地産地消などすでにやっていることがあるなあ。さて、県内産の秋の味覚で栄養つけよう!(ままりん@栄養つけず)



発行/市民協働サポートセンター まんまる
TEL:026-223-0051 FAX:026-223-0052
〒380-0835 長野市新田町 1485-1 もんぜんぶら座 3F
e-mail: npo@nagano-shimin.net
ホームページ: http://nagano-shimin.net/